

令和2年1月16日  
健康づくり推進協議会資料  
健康部医療保健課

## 重症化予防事業（高血糖）

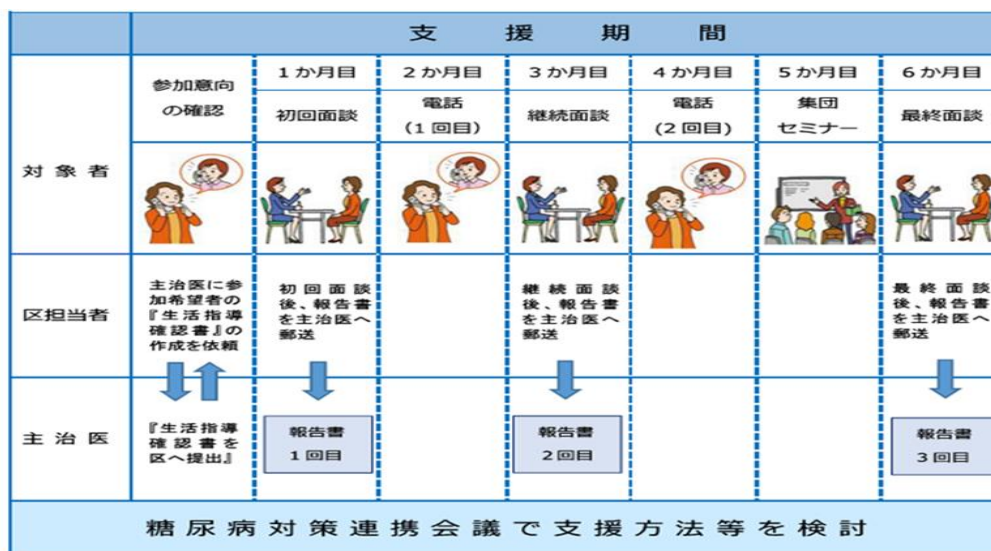
### 1 事業の概要

平成25年度から生活習慣病の重症化を防止するため、特定健診の血糖値が基準値以上の者に対し、生活習慣改善指導、服薬管理、医療機関への継続受診の働きかけ等を実施し、将来的な医療費の抑制を図ってきた。

平成29年度からは、主治医との情報共有を行うことにより、なお一層効果的な保健指導を実施している。さらに医療関係者との協働・連携を図るため、「糖尿病対策連携会議」を設置し、高血糖の対象者の情報共有を行い、方策の協議を行っている。

平成31年度から、眼科医、歯科医、薬剤師の方がメンバーに加わり、より多面的な意見交換ができるようになった。また、今年度からは、意見交換の際に提案のあったPAID（糖尿病問題領域質問票）を取り入れることで、対象者の自身の問題点の気づきや、支援者側の支援の方向性の決定、信頼関係づくりに効果を上げている。

### 2 対象者への支援イメージ



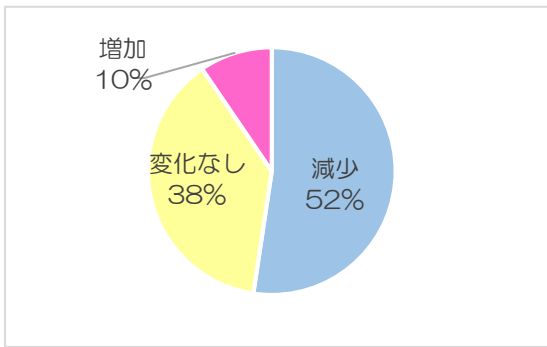
### 3 平成30年度の参加状況と結果

#### (1) 参加者 30名

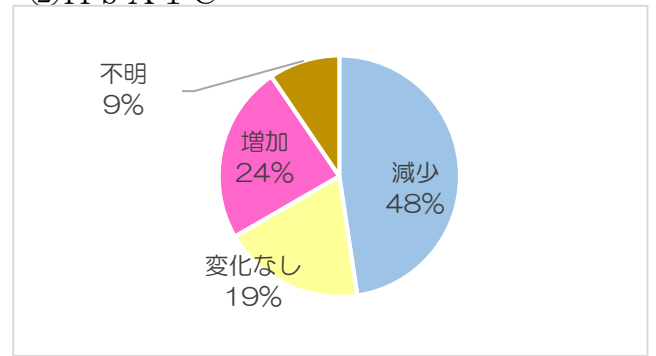
|      | 合計   |     |       | 男性  |     |       | 女性  |     |        |
|------|------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|--------|
|      | 対象者  | 参加者 | 参加率   | 対象者 | 参加者 | 参加率   | 対象者 | 参加者 | 参加率    |
| 40歳代 | 7人   | 1人  | 14.3% | 6人  | 0人  | 0.0%  | 1人  | 1人  | 100.0% |
| 50歳代 | 26人  | 2人  | 7.7%  | 14人 | 0人  | 0.0%  | 12人 | 2人  | 16.7%  |
| 60歳代 | 67人  | 13人 | 19.4% | 34人 | 10人 | 29.4% | 33人 | 3人  | 9.1%   |
| 70歳代 | 75人  | 14人 | 18.7% | 41人 | 7人  | 17.1% | 34人 | 7人  | 20.6%  |
| 合計   | 175人 | 30人 | 17.1% | 95人 | 17人 | 17.9% | 80人 | 13人 | 16.3%  |

(2) 支援修了後の検査数値の変化

①BMI



②HbA1C



(3) 支援修了後の糖尿病に関する意識の変化

|                    | 開始時 | 終了時 |      |             |             |      |    |
|--------------------|-----|-----|------|-------------|-------------|------|----|
|                    |     | 実践  | 自分なり | 関心あり<br>未実行 | しばらく<br>大丈夫 | 関心なし | 不明 |
| 医療機関から指示を受け実践      | 7人  | 2人  | 5人   | 0人          | 0人          | 0人   | 0人 |
| 自分なりにできることを行っている   | 6人  | 0人  | 5人   | 0人          | 1人          | 0人   | 0人 |
| 関心あり・具体的には何も行っていない | 4人  | 0人  | 4人   | 0人          | 0人          | 0人   | 0人 |
| あまり関心なく、しばらくは大丈夫   | 3人  | 0人  | 2人   | 0人          | 0人          | 1人   | 0人 |
| 関心はない              | 0人  | 0人  | 0人   | 0人          | 0人          | 0人   | 0人 |
| よくわからない・不明         | 1人  | 0人  | 1人   | 0人          | 0人          | 0人   | 0人 |
| 合計                 | 21人 | 2人  | 17人  | 0人          | 1人          | 1人   | 0人 |

(4) 【参考】平成29年度糖尿病重症化予防事業 支援完了者の翌年度健診結果

糖尿病重症化予防事業対象者202名のうち、支援完了者32名の次年度健診データ検査値の平均値を比較した。(健診受診者は24名) HbA1Cは1.0%の改善を認め、その他の検査値に関しても維持・改善がみられた。

また、支援完了者の医科・調剤レセプトを確認したところ、通院の中断者はいなかった。

4 結果からわかること

参加者の約半数が、支援修了後のBMI、HbA1Cの数値が改善していただけてだけでなく、病気に対する意識の変化についても、前向きな意識の方が増加しました。

平成29年度の参加者の翌年度の検査値からも維持・改善が見られ、支援後の療養生活が維持できているという結果となりました。

今後の課題として、この事業への参加者を増やし、一人でも多くの方の重症化を予防できるような取り組みが必要です。

引き続き、事業へのご協力をお願いしたいと思います。